

二〇一三年 五月

「今月の言葉」と「今月の聖語」についての紹介

### 今月の言葉

とおく、いのちをもたずして、今日ばかりと、おもえ

蓮如上人  
れんにょしやうてん

日本人の平均寿命は、男性は七九歳、女性は八六歳で、世界でも有数の長寿国だと言われています。そのような話を聞くと、日本に住んでいれば、「まだ自分は当分は大丈夫だろう」と思い込んでしまいます。

そのような我々に、蓮如上人は今月の言葉をおっしゃられています。その意味は「長生きすることはできず、今日だけのいのちだと思いなさい」ということです。

仏教は、「すべての存在は常に変化する」と説きます。諸行無常しよぎゆむじやうという教えです。我々のいのちも例外ではなく、いつ終わるかわからない、はかないいのちを生きているのです。

今一度、いのちの有限性を認識させられる蓮如上人のお言葉。

### 今月の聖語

辛抱してもらって生きてきた私

東井義雄  
ひがしゐのり

学校の中でも、町中でも、「迷惑だなあ」と思うことがよくあります。廊下での追いかけてこ、会話の途中に割って入る人、人ごみの中で肩をぶつけてくる人、歩いていて急に立ち止る人、……。数え挙げればきりがありません。が、いちいち腹を立てたり、文句を言ったりせず、「しようがないなあ」と辛抱して生きています。

ということは、私もたくさん辛抱してもらっているのではないのでしょうか。私達は、自分のことには気がつかず、「私は、例外」とどこかで思い込んでいるのです。なかなかやっかいですね。この私は……。

合掌

宗教教育係